

# 令和3年度主要施策の成果のあらまし

区は、大田区基本構想で掲げた将来像「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」を実現するため、令和2年10月に「新おおた重点プログラム」を策定し、「地域力」と「国際都市」を中心に、子育て、保健・福祉、まちづくり、産業振興、地域力、環境など、あらゆる分野の施策を推進しています。また、「新おおた重点プログラム」では、国際目標であるSDGs(持続可能な開発目標)の17のゴールについて、各計画事業との関連を明記し、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりに向けた取組を着実に推進しています。ここでは、令和3年度の主要施策の取組内容のまとめをご案内するとともに、特に主要な事業について、いくつかその実施状況をご紹介します。



## 1 「新おおた重点プログラム」における個別目標ごとの事業費(令和3年度決算額)等のまとめ

個別目標	主要施策数 (事業数)	取組の数	事業費 (令和3年度決算額)
1-1 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします	17	53	40,560,653 千円
1-2 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります	21	49	12,370,485 千円
1-3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります	8	28	2,603,315 千円
2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します	21	50	12,377,543 千円
2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります	4	12	802,901 千円
2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します	11	33	3,528,034 千円
3-1 地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します	11	36	335,137 千円
3-2 私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です	6	16	2,677,126 千円
3-3 区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます	6	16	4,988,163 千円
合計	105	293	80,243,357 千円

※事業費については、個々の事業ごとに決算額を千円未満四捨五入し、集計しています。

【参考】  
新おおた重点プログラム(令和2年度)  
主要施策数(主な事業数): 127  
取組の数: 313

## 2 主要な事業の実施状況

### ■個別目標 1-1

未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします

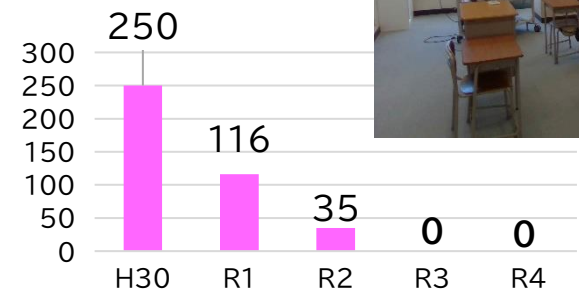
●これまでの私立(認可)保育園をはじめとした、多様な保育基盤の整備により、令和3年度(4月1日時点)に初めて待機児童ゼロを達成しました。また、引き続き令和3年度中も保育需要を見極めながら保育基盤を整備・維持することで令和4年度(4月1日時点)についても、待機児童ゼロを継続しました。

●令和3年4月には、東京23区の公立校としては初めてとなる、不登校特例校分教室を開設し、特別な教育課程により、少人数指導や体験活動を多く取り入れたキャリア教育を実施しています。

不登校特例校分教室



大田区 待機児童数  
(0歳児から5歳児の合計)



### ■個別目標 1-2

誰もが自分らしく、健康で生きがいをもって暮らせるまちをつくります

●新型コロナウイルスワクチン接種事業においては、区内3医師会と病院の協力を得て、325の「個別医療機関」と、民間企業や学校法人から提供いただいた会場と区の施設を併せた「集団接種会場」を整備することで、接種を加速させました。

●東京オリンピック・パラリンピック関連事業では、6競技のブラジル選手団を受け入れ、ボランティア等の尽力により、感染者を一人も出すことなく事前キャンプを終えることができ、ボランティアマインドの醸成につながりました。また、聖火リレーの公道走行が中止になる等の影響がありながらも、点火セレモニーやパラリンピック聖火ビジット等を実施しました。



ブラジル選手団事前キャンプ

### ■個別目標 1-3

高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくります

●70歳、75歳の方を対象に、認知症に関する知識の啓発と検査を無料で実施する「大田区認知症検診」を開始しました。検診結果は各地域包括支援センターに提供し、必要に応じて個別支援につなげました。

●新型コロナウイルス流行下においても高齢者が心身の健康を維持することができるよう、オンライン環境を活用した地域間交流事業として、老人いこいの家7館をつなぎ、季節行事と脳トレーニングを取り入れたレクリエーションや体操を実施しました。





### ■個別目標 2-1

水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

- 激甚化する風水害に備えるため、対応備品や資機材を充実させた水防活動拠点として「大田区仲六郷水防資機材センター」を整備（令和3年11月19日竣工）し、令和4年4月1日に運用を開始しました。
- 拠点公園の再整備として、子ども達に人気の遊び場である西六郷公園（タイヤ公園）の改良工事及び管理棟新築工事を行いました。また、地域の拠点となる緑地の創出として、四季折々の景色が楽しめる森ヶ崎緑華園の整備工事を行いました。



大田区仲六郷水防資機材センター



森ヶ崎緑華園

### ■個別目標 2-2

集団接種会場（日本工学院）  
首都空港「羽田」と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

- 羽田イノベーションシティの本格稼働から1周年を記念して、11月5日から7日に「スマートシティEXPO 2021」を開催し、先端技術を活用した誰もが楽しめるスポーツ等を通じて、新しい生活様式の導入や多様性と調和への意識醸成等、新たな価値観について『考える』機会を提供しました。
- 羽田イノベーションシティ内の区施策活用スペース「HANEDA×PiO（ハネダピオ）」については、アライアンスパートナーとの連携やモニター利用者の誘致等を進めるとともに、令和3年10月に交流空間ゾーン「PiO PARK（ピオパーク）」がオープンしました。



スマートシティ EXPO2021



PiO PARK（ピオパーク）

### ■個別目標 2-3

ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します

- 多様な創業希望者を支援し、区内産業の発展につなげることを目的として、10月1日に南六郷創業支援施設（六郷BASE）がオープンし、令和3年度の延べ入居者数はオフィスが6社、シェアードオフィスが7社となりました。また、創業に関するセミナーや体験イベント等を開催しました。
- まちの魅力の再発見を通じてシビックプライドの醸成につなげ、広く区内外に大田区ファンを増やし、「住んで良し、訪れて良し」のまちづくりを進めるため、大田区の歴史・文化・名所・伝統・食といった幅広い分野について、講座やクイズを通して無料で楽しく学べる事業として、「大田区学」を開始しました。



六郷 BASE



大田区学 ロゴマーク

### ■個別目標 3-1

地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します

- 近年、防災対策に対する区民の関心が高まっており、自ら避難することが困難な要配慮者とその家族等が、日頃から風水害時の避難に関心を持てるよう、「要配慮者のためのマイ・タイムライン講習会」を事業所向けに1回、要配慮者とその関係者向けに3回実施しました。
- スマートフォンの簡単な操作方法やオンライン会議の体験等、ICTスキルを習得する機会を提供し、ICT機器を利用できる人とできない人の間に生じる格差（デジタルデバイド）の解消に努めました。



スマホ体験講座

要配慮者のための  
マイ・タイムライン講習会

### ■個別目標 3-2

私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です

- 脱炭素社会への移行、ウィズコロナ、アフターコロナを踏まえた事業展開など、新たな環境課題や社会的要請に対応するため、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的とした「大田区環境アクションプラン」を策定しました。
- 食品ロス削減に関する取組では、家庭での未利用食品を福祉団体や施設などに寄付する「フードドライブ」や、事業者から発生した食品ロスを区内の福祉団体等と結びつける「事業者マッチング」を実施しました。



環境アクションプラン



フードドライブ

### ■個別目標 3-3

区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます

- 区民の利便性向上を目的とし、オンライン申請可能手続数を35件に拡充しました。また、キャッシュレス決済についても、青少年交流センター「ゆいっつ」や休養村とうぶの各種施設使用料、18特別出張所における証明書発行手数料の支払い手続きに導入し、取扱業務・窓口数を57件に拡充しました。
- 区民活動施設、保育園や地域包括支援センター等を併設している新蒲田一丁目複合施設が令和4年2月に竣工しました。愛称を「カムカム新蒲田」とし、今後、地域活動や生涯学習など、様々な活動を通じて幅広い世代の交流やにぎわいの創出が期待されます。



新蒲田一丁目複合施設「カムカム新蒲田」